

2. 水の都をつくるための基本方針

水の都づくりの目標

広島は水の都としての優れた条件をもっており、その条件を生かしていくための課題を踏まえ、長期的な水の都の将来像として、次のような目標を掲げます。

1. 市民が自ら水辺に深く関わって暮らし、水の都に住み、働き、憩う中で、水辺における豊かな思い出をもつことができること。
2. 水辺がそのような舞台となるために、水辺自体が安全で気持ちよく、楽しい場所となっているだけでなく、暮らしの中心である街なかとのより密接な関係が確保されていること。
3. そのような暮らしや場所づくりを支えるために、水辺を使ったネットワークや水辺利用のためのルールなど、水の都ならではのシステムをもっていること。

3つの柱

この目標を実現するために、次の3つの柱を設けます。

1. つかう～市民による水辺の活用

市民がそれぞれの立場で主体的に水辺を活用して、水の都らしい生活を楽しむように、また楽しめるようにしてきます。同時に、観光をはじめとした都市活動の中で、水辺を役立てていくことにも積極的に取り組みます。

2. つくる～水辺空間の整備とまちづくりとの一体化

水辺が気持ちよく、楽しく、美しく、安心できる場所となるよう、必要な整備を進めます。また、水辺が都市の空間構成の中でより重要な位置を占められるよう、まちづくりと一体となった取り組みを進めます。

3. つなぐ～水辺のネットワークと水の都の仕組みづくり

水辺の活動や施設などを相互につないで、「つかい」「つくる」取り組みがより円滑に幅広く展開できるような、水の都にふさわしいシステムをつくりだします。このために、水上交通による物理的なネットワークをつくる一方で、行政や市民活動団体を横につなぐ社会的なネットワークをつくり、PRや流域連携、ルールづくりなどのための横断的・組織的な仕組みづくりを進めます。

20の方針

3つの柱に基づいて、20の方針を示します。

1. つかう

～ 市民による水辺の活用

1 水辺を晴れの舞台にしよう

水の都にふさわしく、式典やプライベートなセレモニー、パーティなど人生の大切なワンシーンを水辺で開催できるようにします。

取り組み

水辺のセレモニーやパーティーの企画・商品化
水辺を晴れの舞台とするための環境整備



水辺での結婚式のワンシーン

2 水辺を暮らしの中に取り入れよう

日常的な暮らしの中で、散歩や休憩など何気ない楽しみ場、憩いの空間として大いに水辺を利用します。

取り組み

水辺の日常的利用支援事業
水辺に日常的に訪れる仕掛けづくり
水辺を憩いの場とするための環境整備



テーブルやベンチを貸し出して水辺に置く

3 水辺で学ぼう

水辺を使って、誰でも、いつでも、どこでも学べるようにし、学んだことが評価されるようにしていきます。

取り組み

水の都に関連した学習プログラムの開発
川の先生・海の先生の育成
水の都フィールドミュージアムの推進



歴史に詳しい先生とデルタの水辺を歩く

4 率先して環境に配慮しよう

人間だけでなく生きもの全てにとっての水の都であることをめざし、市民の環境意識を高めながらデルタの環境を保全・再生していきます。

取り組み

都心部における自然環境の保全
川や海の環境保全に関する市民の参加
水辺の環境についての情報発信
水循環への配慮
クリーンアップイベントの開催



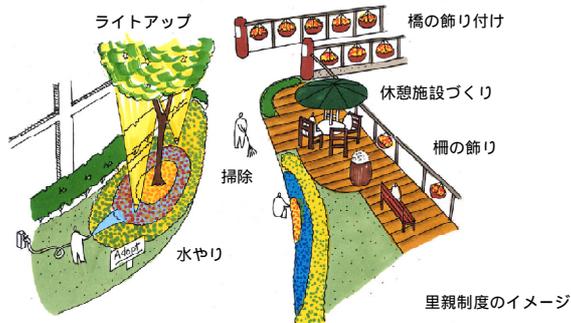
子どもたちが水質調査に取り組む

5 水辺を飾ろう

水辺に暮らす人が、自分たちの家や庭、公共空間を美しく飾ることによって、水辺の価値を高め、市民や観光客に華やかな風景を提供します。

取り組み

住民や企業による水辺建物の装飾
水辺の里親制度(市民による緑地管理)の実施
デコレーションイベントの実施



6 水の都の風物詩をつくり育てよう

水の都らしい風物や行事を水辺で行うことにより、豊かな水の都の文化を育てるとともに魅力的な観光資源にしていきます。

取り組み

水の都に関わるイベントや行事のアピール
イベントや行事への水の都らしさの取り入れ
新しい水の都の風物詩づくり
水辺に風物詩をつくり育てるための環境整備



広島夏まつり太田川花火大会

7 街の元気につなげよう

商店やレストランなど、街の活動が顔を出し、水辺がにぎやかで活気のある場所となっていくようになります。

取り組み

水辺への商業施設の誘導
商店街による水辺の活用と川の駅の設定



8 観光資源として活用しよう

水辺を広島の都市観光資源としてもっと活用し、既存の観光資源にも水辺の魅力をつけ加えて、「水の都ひろしま」の都市イメージを発信していきます。

取り組み

水の都観光の企画・商品化
新しい観光資源の開拓
海の観光拠点づくり
水の都に関わる観光情報の提供
水の都に関わる観光受け入れ機能の強化



川を見下ろすレストランなどを観光資源として活用

2. つくる

～ 水辺空間の整備とまちづくりとの一体化

9 個性的な水辺をつくろう

それぞれの水辺の特徴を生かして、広島ならではの自然、歴史、文化が感じられるような水辺にしていきます。

取り組み

場所に合った水辺の名所づくり
橋の名所づくり
市街地内での新しい形式の水辺の創出
自然豊かな水辺づくり
漁業との共生



橋詰の親水護岸



歴史のある雁木

10 誰もが楽しめる水辺にしよう

子どもも高齢者も障害者も、誰もが行け、集い、楽しみ、交流できるような開かれた水辺づくりを行います。

取り組み

重点地区におけるユニバーサルデザインの導入

保健・福祉的な視点での水辺利用の促進
公開空地の水辺への誘導と積極的な活用の推進
水辺に直面した民間施設の公益的な空間づくりの推進



ユニバーサルデザインに配慮した水辺の例

11 泳げ遊べる水辺にしよう

容易に水面に近づくことができ、安心して泳げ、安全に楽しく遊べるような水辺をたくさんつくります。

取り組み

子どもが泳げ遊べる川づくり
海と遊べる環境づくり
水辺での遊びを推進するための環境整備
水質・底質の改善



子どもが水に入って遊べる場をつくる

12 水辺の景観を美しくしよう

水辺の建物、環境デザインの質を高め、水辺においてより美しく水の都らしい景観づくりを進めます。

取り組み

リバーフロント建築のデザイン・美化
水辺の構成要素のデザイン・美化
夜の風景づくり
港の景観計画の策定



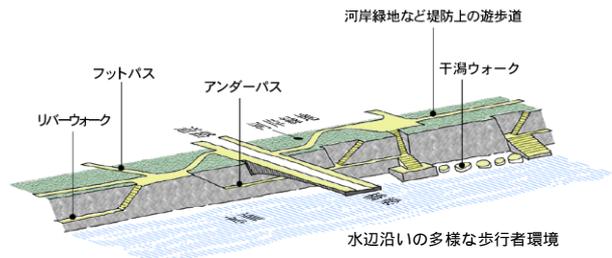
灯和の径

13 水辺に行きやすく、水辺を歩きやすくしよう

街と水辺を結ぶ、あるいは橋による分断を補完する歩行者動線を確保することにより、どこからでもすぐ来られて、どこまでも安心して歩いていけるような、快適な歩行者空間をつくります。

取り組み

水辺の歩行者空間の連続性の確保
水辺に隣接する街区内へのフットパス*づくり
水辺の歩行者系ネットワークの確立
水辺沿いの快適な歩行者環境づくり



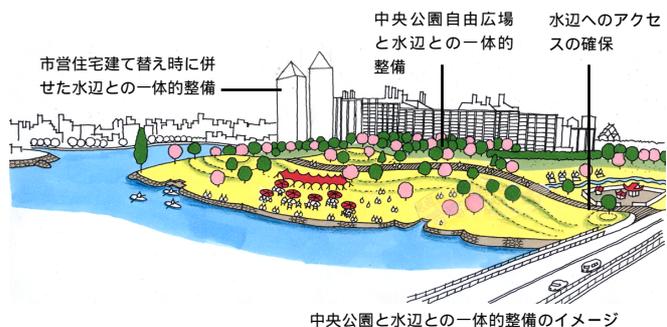
アンダーパス : 橋梁下の連続した遊歩道
フットパス : 通り抜け道
リバーウォーク : 水辺に近く満潮時にも水没しない遊歩道
干潟ウォーク : 満潮時に水没するボードウォークや飛び石による遊歩道

14 水辺と街を一体的にデザインしよう

水辺と街の要素とを一体的に調和のとれた関係となるように配置し、公園や街並みなどがもっと水辺の魅力を受けられるように、またそれによって水辺の空間がより利便性が高く拡がりをもてるようにします。

取り組み

水辺と一体となった民間施設・公共施設のデザインの促進
水辺と街を分断する車道のあり方の工夫
風の道を生かした建築物の誘導



中央公園と水辺との一体的整備のイメージ

15 街の中で水の都を感じられるようにしよう

水の豊かさ、身近さが街にいても感じられ、水の都らしい雰囲気は街中にあふれるようなまちづくりを進めます。

取り組み

市街地と水辺をつなぐ整備
水のギャラリーの設置
水の都としての特徴の体系的な収集整理と学習
市街地における水辺の実況中継



シャレオ中央広場での水辺の映像

3. つなぐ

～ 水辺のネットワークと水の都の仕組みづくり

16 水上交通ネットワークをつくろう

水辺の様々な都市機能や観光施設を相互に航路でつなぎ、市民や観光客が利用できるように、水上交通のネットワークを充実させていきます。

取り組み

水上バス・タクシーの運航
ネットワークの要となる公共棧橋の整備
広島の条件に適合するオリジナル船の開発
安定航路確保のためのしゅんせつや橋梁桁下空間の確保



水上バス・タクシーの実験的運航

17 水の都をPRしよう

太田川デルタを「水の都」として堂々とPRしていきます。

取り組み

水の都キャンペーンの実施
水の都の情報誌の発行とホームページの運営
水の都風土記(ライブラリー)の編纂と展示

18 流域全体で取り組もう

水の都を支える上流・中流域の地域づくりを下流のデルタ地域の住民がサポートするなど、流域全体の視野をもった地域連携の取り組みを積極的に進めます。

取り組み

上・中流域の農山村との交流
流域全体としての取り組み



牡蠣(カキ)養殖の業者が上流の山に木を植える

19 水の都のルールをつくろう

水辺利用の基本的なルールを明解にし、積極的に普及させ、誰もが容易に水辺を活用できるようにしていきます。

取り組み

水の都にふさわしい市民のマナーの普及
水辺空間利用のルールづくりとその普及

20 水の都を盛り上げる組織をつくろう

多様で活力のある市民活動やそれらをサポートする市民組織を育成し、市民主体の水の都づくりを継続的に進めていく。

取り組み

水の都に関わるNPOや市民活動組織の育成
水の都を推進する組織づくり